

長崎県立図書館所蔵環シナ海交流関係資料

中村 質：九州大学名誉教授

九州大学名誉教授中村質先生(別府大学文学部教授)は平成10年*月*日の朝、急逝された。先生は、本領域研究にあつては計画研究「環シナ海地域間交流史 - 江蘇・浙江・朝鮮 - 」(研究代表者：川勝賢亮・九州大学文学部教授)ならびに計画研究「琉球・沖縄の歴史的文物の情報化」(岩崎宏之・筑波大学歴史・人類学系教授)の研究分担者として参加され、長崎県立図書館所蔵「環シナ海交流関係資料」や平戸松浦史料博物館所蔵「奉書・御内書」などの史料の調査・収集に尽力され、また平成8年9月27～29日に長崎市・平戸市を会場に開催した研究会では種々の準備にあたられ、先生ご自身でも「平戸・長崎の唐人社会と貿易」のご講演をされて私たちに大きな感銘を与えられた。先生には、研究面だけでなく、共同研究の運営面でもなにかとご配慮を頂いたり、ご苦勞をおかけしたが、また今思えば死期を感じられてのことであろうか、永年にわたって蓄積された先生のご研究の成果を惜しげもなく本領域研究のために提供され、その公開を強くご希望された。この「長崎県立図書館所蔵環シナ海交流関係資料」もそのひとつで、先生のこれまでのご研究に基づいて長崎県立図書館の所蔵史料のなかから長崎貿易に関する各種資料を抽出され、これをフィルムライブラリとしてお纏めになったものである。まことに残念ながら、体調がすぐれないままに、先生ご自身による解説を頂けないうちに先生は他界された。

「長崎県立図書館所蔵環シナ海交流関係資料」は、上記のような事情で、平成7年度に先生のご指示によって長崎県立図書館所蔵の資料から、長崎貿易に関する史料などを環シナ海交流関係資料として抽出し、マイクロフィルム化したもので、彩色された絵図など一部の資料はカラーフィルムで撮影した。撮影は有限会社JDR(岡山市所在、現在の社名はコンテンツ株式会社)に委嘱し、16mmマイクロフィルムを使用して行った。撮影したのはマイクロフィルム26リール、505件の資料でコマ数にすると29,935コマで、他にカラーフィルムでの撮影が43件ある。撮影した文書資料は、長崎県立図書館で「一般郷土資料」として分類されているもの316件(村上文書115件、永見文書44件を含む)、古賀文庫資料13件、青方文庫資料17件、渡辺文庫資料69件、藤文庫資料90件で、カラー写真として撮影したものには「東洋南洋航海古図」(1舗、88×67、彩色、廬高朗)、「乍浦至長崎海路行程図」(1舗、78×54、彩色)、「従唐国乍浦至日本崎港海程図」(1舗、84×64、彩色)、「唐船夏冬乗筋絵図 風待并撃場所里数共」(2舗 1通1枚、81×54、彩色、付箋;異国船繋り場絵図・40×55、彩色、長崎野母野之略圖)、などがある。平成8年9月27日の研究会の際に贈呈式がおこなわれ、撮影資料を長崎県立図書館に寄贈した。ここに本資料作成の経緯を述べて、先生のご冥福をお祈りする次第である。

領域代表者 岩崎 宏之(記)